

空手・琉球の武術を学ぶ

研究の視点から

「空手（沖縄伝統空手）」は沖縄発祥の武術として知られており、二〇二〇年の東京オリンピックの追加種目に正式採用されて以来、空手はこれまで以上に注目を浴びています。沖縄県内には四〇〇以上の空手道場があり、日本では二〇〇万人、世界では一億三〇〇〇万人という多くの愛好者がいることが沖縄県の報告で明らかになっています。

空手は沖縄の文化に根付いた武術の一つであり、各道場で武術や技術などは研鑽されていますが、その学術的研究についてはまだまだ未開拓の部分が多いのが現状です。今回はその空手や琉球の武術について、それぞれの研究者の視点から三回にわたって講座を行います。

講師

第1回 2月14日（金）「近代における『空手の歴史』：明治編①」

講師：仲村 顕（県立芸大芸術文化研究所共同研究員）

第2回 2月21日（金）「『沖縄伝武備志』と琉球空手との関係」

講師：盧 姜威（県立芸大芸術文化研究所共同研究員）

第3回 2月28日（金）「琉球芸能と武術」

講師：鈴木 耕太（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所准教授）

共通事項

時 間 | 15時00分～16時30分

場 所 | 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所
3階小講堂

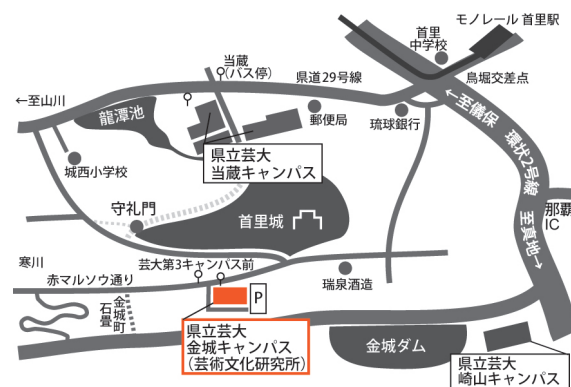
定 員 | 50名

参加費 | 無料

当日参加も受け付けております。

お気軽にお問い合わせ下さい。

右のQRコードからお申し込みいただくか、以下の電話、メールにてお申し込み下さい。



申し込み

〒903-0815 那覇市首里金城町 3-6
TEL:882-5040
MAIL:k-jimu2@ken.okigei.ac.jp